

# 循環型社会に向けた環境統合情報システム

境 国昭\* 内藤知子\*\*  
 関 昌弘\* 川原 明\*\*\*  
 福田孝司\*

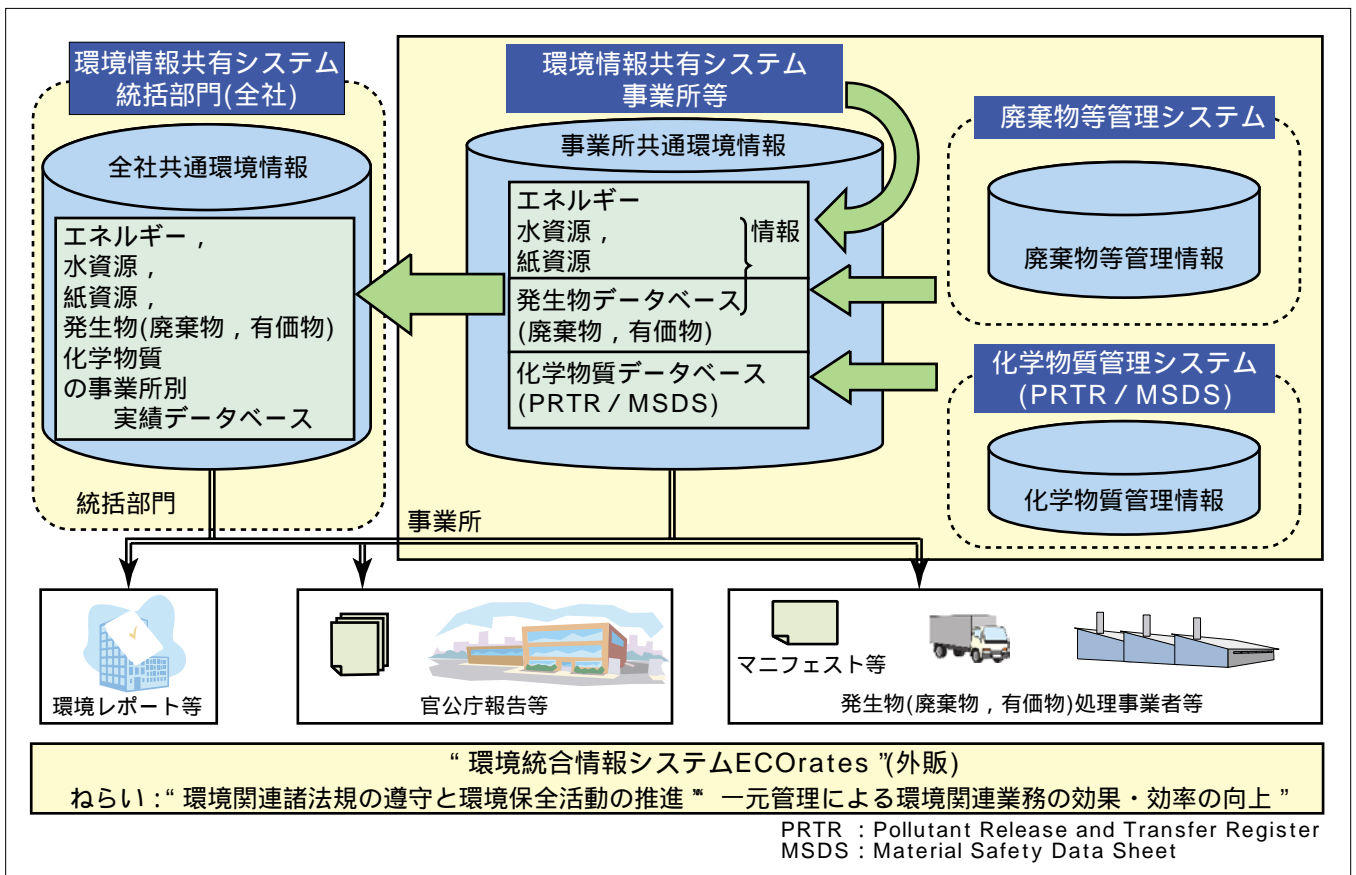
## 要 旨

現在、我が国では、産業廃棄物の不法投棄防止や環境汚染防止など「環境リスクの予防と保全」を目的とする法規制強化が図られている。また、地球温暖化の防止や最終処分地の逼迫(ひっばく)対策として「循環型社会形成の推進」が提唱され、資源・エネルギー消費の削減、再利用の推進、廃棄物の削減などの積極的な取り組みが展開されている。

三菱電機では、「環境統合情報システム(ECO rates)」を構築し、三菱電機グループに展開している。三菱電機情報ネットワーク(株)(MIND)は、その構築に参画し、システム運営を担当している。この実績を背景に、MINDでは、2000年10月から一般の企業を対象とする環境情報のASP(Application Service Provider)サービスやシステム販売

を開始し、現在、積極的にその拡販活動を展開している。一般企業向け事業では、会社規模、事業所数、廃棄物種別、排出量などは多種多様である。また、ユーザーは廃棄物排出者が基本であるが、廃棄物の収集・運搬・処理業者も対象であり、処理業務改善への対応強化も重要である。

このシステムは、工場の全発生物と排出物を適正に処理するための「廃棄物等管理システム」、工場内で発生する環境影響物質を管理するための「化学物質管理システム」、エネルギーや資源を管理するための「環境情報共有システム」などのサブシステムで構成され、環境諸法規の遵守、環境情報管理の充実、環境関連業務の改善を図っている。以下では、ユーザー要求の視点からシステムの概要を紹介する。



環境統合情報システムECO ratesは廃棄物等管理システム、化学物質管理システム、環境情報共有システムのサブシステムで構成され、主要環境情報を統合的に扱える。ねらいは遵法の徹底、再利用の促進、環境業務の改善であり、対象とするユーザーは排出事業者と処理事業者の双方である。